

## \*ライティング基礎(Aクラス)

授業科目	*ライティング基礎(Aクラス)				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	西原 真弓										
授業概要	この授業では、英語でパラグラフライティングができるようになるための素地を養います。パラグラフライティングの基盤となる英語文法の確認や頻出単語のコアのイメージを捉え、英語での表現力を豊かにしていくことを目的とします。さらに、一定量の英文を書くことに慣れていながら、パラグラフライティングの基本事項（テーマ、topic sentence、supporting sentence、concluding sentence など）について理解を深めていきます。										
授業形態	演習	授業方法	反転授業								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	英文法やスペリングなどの誤りが少ない英文が書ける。(DP1) 日本語を直訳するのではなくある程度自然な英語で表現できる。(DP5) 英語におけるパラグラフの概念を理解している。(DP4)										
理想的レベル	英文法やスペリングなどの誤りが無い英文が書ける。(DP1) 英語らしい表現ができる。(DP5) 英語におけるパラグラフの概念を理解し、ある程度まとまった分量の段落が書ける。(DP4)										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験											
小テスト	60%			学習内容の理解度確認小テスト2回(30点×2)							
レポート	20%			段落構成の理解度を見るライティング課題(10点×2)							
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他	20%			主体的に英語表現力を向上させようとする取り組み姿勢							
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN21207J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
授業で扱う章の予習 授業で学習した内容の復習 授業で学んだ単語のコアのイメージを定着、拡充するための学習										4	
授業計画											
第1回	授業オリエンテーション、										

	単語のコアのイメージを捉えるとはどういうことか学習する。
第2回	英語は時制が大切であることを理解する。 現在形: Present tense を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第3回	過去形: Past tense を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第4回	未来形: Future tense を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第5回	進行形: Continuous tense を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第6回	法助動詞: Modal Auxiliaries を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第7回	動詞・名詞・代名詞: Verbs, Nouns, Pronouns を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第8回	形容詞・副詞・前置詞: Adjectives, Adverbs, Prepositions を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第9回	単文・重文と等位接続詞を意識したライティング演習 Topic sentences について学ぶ。
第10回	複文と従位接続詞を意識したライティング演習 Supporting sentences について学ぶ。
第11回	関係詞(関係代名詞・関係副詞)を使ったライティング演習 Conclusion について学ぶ。
第12回	間投詞: Interjections の使い方について学ぶ。
第13回	比較級・最上級: Comparative, Superlative を用いた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第14回	仮定法をもちいた単文・複文・重文・段落のライティング演習を行う。
第15回	総復習
テキスト	New Friends: On the Way to Writing Fluency. 2013. Hiroshi Ozono and Andrew Zitzmann. 南雲堂.
参考図書・教材 /データベース・ 雑誌等の 紹介	辞書 その他参考文献は授業内で適宜紹介する。

課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点して翌週に返却、振り返りをする。 レポートのライティング課題は添削をして採点し翌週に返却する。 学習に対する姿勢は、課題への取り組みなどを見て個々にコメントする。
学生へのメッセージ・コメント	授業外でも英語で文を書く習慣をつけてください。高校までに学習した文法などを意識しながら自分が書いている文をモニターできるように、校正を繰り返してより伝わりやすい文を作ることができるようになるために、毎日書き続けましょう。